

# くらしの中から考える

## 新品と中古品

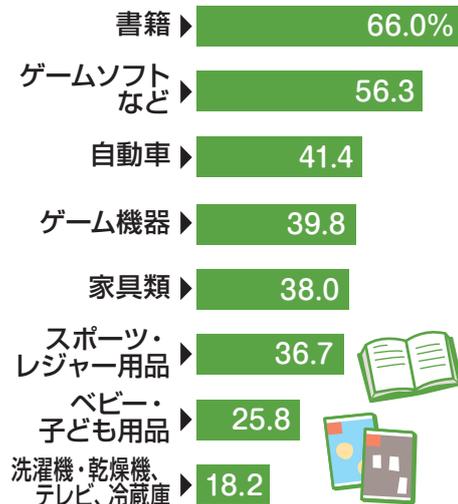
組みを進めようと、国が定めた「3R（リデュース・リユース・リサイクル）推進月間」です。この機会に新品と中古品、それぞれの良さを考えてみましょう。  
（吉田瑠里）

皆さんは欲しいものを新品で買うか、中古で買うか迷ったことはありませんか？ 自分が使わなくなったものを誰かに譲ったことのある人もいるかもしれませんね。今月は、循環型社会に向けた取り

中古品を売買するリユース（再利用）市場は広がっている。環境省によると、二〇一八年度の市場規模は三兆二千億円で、三年前と比べて一千億円ほど多い。特にベビー・子ども用品やゲーム機器などが増えた。最近ではフリーマーケット（フリマ）アプリが普及し、誰でもスマートフォンで手軽に売買できるようになったことも理由の一つだろう。中古品は新品より安く買えることが多い。中古でしか手に入らない昔のゲームソフトやスニーカーなど、「珍しい」と人気を集めるものも少なくない。大手広告代理店の博報堂が一月、十六〜六十九歳の四千二百二十五人に買い物の意識を聞いたところ、若い

### ◆ 新製品で便利な社会

今後、中古品を購入してもよいと答えた人の割合



※10代から高齢者までの5万4228人を対象とした2019年2月の環境省の調査から

## 製造過程 環境に負荷も

ものをつくる過程で資源やエネルギーを使いすぎて

掛ける。買い物をする際に意識していることはありますか？ 皆さんの意見を送ってください。紙面で紹介したお子さんの中から抽選で図書カードをプレゼントします。応募は〒460 8511 中日新聞（東京新

皆さんの意見を送ってください

生活部「学ぶ」係  
＝ファクス052(222)5284、メール seikat@chunichi.co.jp＝へ。  
QRコードから、ワークシート兼応募用紙もダウンロードできます。20日締め切り。

### ◆ リユース市場広がる

## 若い世代ほど抵抗なく

世代ほど「新品を買わずに中古品を買う」「新品を買わずに借りたりシェアしたりする」という人が多い傾向が見られた。同社の亀田知代子さん（四四）は「以前は新品を買うことが豊かさの象徴だった。新品に囲まれて育った若い世代は新しさより自分の好みを大事にする」と分析する。

「中古品を買うことはほぼ」といって、博報堂が一九九

とんだない」と言うのは横浜市の男性（三三）だ。八人きょうだいの末っ子で、幼い頃はお下がりがばかり。大人になっても自分で働いたお金で流行の最先端の新品を買うことに喜びを感じたという。「他人が使ったものには抵抗がある。安心できる新品を買い、壊れるまで使えばいい」

六年から二年おきに、二十〜六十代の男女約三千人を対象に行ってきた調査では、新製品・新商品に関心を持つ人が徐々に少なくなっている。亀田さんは「新しいものをつくり出すことで世の中が便利に、より良くなる。新品のその価値は変わらない」と指摘する。

いないか、原材料の産地で環境破壊が起きていないか」という視点も求められている。亀田さんは「商品を買ったときは価格やデザインだけでなく、いろんな面から見て選んで」と話す。